

単元名：

「あたたかい土地の暮らし」

(全4時間扱い中 第1時)

授業日時 2019年6月28日(金) 第3校時

授業学級 5年西組

授業会場 5年西組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

子どもは、沖縄県の家の特徴を考え、地域によって家の作りが異なること、その地域の気候に合わせて暮らしが変化していることに気付くことができる。

(2) 授業のポイント

- ・現在の沖縄の家と普通の家、昔の沖縄の家と昔の普通の家を提示して子どもに問うことを通して、沖縄県の家が気候に合わせた工夫をしていることに気付くことができるようにする。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◎予想される児童の反応 ◇留意点・★教材	時間
導入	1. 黒板に提示された写真についてのクイズを考える。	<p>○「今日はワークシートを使うので教科書とノートはしまっていて大丈夫です。」 (意図) 事前に必要ない旨を伝えることで、学習の姿勢を整えやすくする。</p> <p>○「まず、皆さんにクイズです。」 (意図) クイズをすることで子どもたちの興味を写真に向ける。</p> <p>★A 現在の沖縄の家の写真と B 現在の長野県の家写真を黒板に貼る。</p> <p>○「1問目。どちらかが長野県、どちらかが沖縄県です。AとBどちらがどちらでしょうか」 (意図) 簡単にそれぞれの家の違いを見つけられるようにする。</p> <p>◇答えに反応しすぎてクイズを正解することに重点が置かれないように注意する。</p> <p>◎「Aが沖縄！」</p> <p>◎「Bは沖縄じゃないの？」</p> <p>◎「ちがうよ、だってあんな家の形してないもん。」</p> <p>◎「私の家はどっちもちがうよ。」</p> <p>◎「空が明るいからBが沖縄でAが長野！」</p> <p>○「なるほどね～。正解は、Aが沖縄県、Bが長野県でした！じゃあ、第2問目。」</p> <p>★C 昔の沖縄の家の写真と D 昔の長野県の家写真を黒板に貼る。</p> <p>○「少し難しいです。どちらが長野県、どちらが沖縄県でしょう。」</p>	5

	<p>2. 家のつくりに着目する。</p> <p>問題：沖縄県の家はなぜこのよう なつくりをしているのだろうか？</p>	<p>(意図) ワークシートの作業につながる様に2つのクイズを出し、類似の比較を難易度を変えて行うことで、家についてやるのではないかと予想がたてられるようにする。</p> <p>◎「Cが沖縄!」「Dが沖縄だよ!」</p> <p>◎「Dは長野だよ!」</p> <p>○「なるほど。この問題の正解は、Cが沖縄県、Dが長野県でした!」</p> <p>○「どうしてみんなはこの写真から違いを発見できたのかな?」</p> <p>(意図) 答えの理由を問うことで、子どもが自身の心の中で判断した理由を振り返り、家の特徴から判断したことを意識できるようにする。</p> <p>○「では、ワークシートを配ります。」</p> <p>★ワークシートを配る(一人一枚)</p> <p>○「まず、学習問題を書きます。」</p> <p>(意図) 子どもが、今後の見通しを持てるようにする。</p> <p>○「1と2の写真はどちらも沖縄の写真だけど、1は今の沖縄の家で、2は昔の沖縄の家です。」</p> <p>(意図) 1と2には違いがあることを示す。</p> <p>○「学習課題を書きます。」</p> <p>(意図) 今やっていることの確認と今後の見通しがたつようにする。</p>	2
<p>【学習課題】 沖縄県の家の特ちょうを見つけよう!</p>			

展 開	3. 沖縄県の家について気付いた特徴を書く。	<p>○「沖縄県の家の特徴を見つけるんだけど、今からちよっとみんなで沖縄県に行ってみようか。」</p> <p>(意図) 行ってみようと声掛けをすることで、自身が活動しているという意識を持ってもらう。</p> <p>★パソコンにて Google Earth を使い、沖縄県の現在の家と伝統的な家を多方面から見る。</p> <p>○「これが今の沖縄県の家です。」</p> <p>○「これが昔の沖縄県の家です。これは、文化財として残っている中村家住宅です。」</p> <p>◇ICT 教材を終了させる際は、終わりであることをしっかりと伝え、きりかえができるように注意する。</p>	7
	4. グループに分かれて、気付いた特徴をまとめる。	<p>○「次にグループ活動します。朝に決めた三人の班になりましょう。机をくっつけましょう。」</p> <p>◇自分の班が分からない子への対応のために、班を控えておく(座席表)</p> <p>○「今行ってきた沖縄県を写真配ります。黒板とワークシートにもあるから、それを見て、気になった所や長野県の家と違うと思った所を、グループで話し合ってください。見つけた特徴を、ワークシートの①番と②番の『気付いた特ちょう』の部分にそれぞれ書きましょう。」</p> <p>★写真を配る(1グループ6枚)</p> <p>★黒板に沖縄県を写真(追加分)を貼る。</p> <p>○「書きやすい方の番号から書いていいよ。あと、ワークシートの写真に印を付けたりしてもいいよ。」</p> <p>(意図) 沖縄県の家の特徴を書くきっかけを作る。どこからでも書いていいこと、写真に描き込んでよいことを伝えることで、スムーズに作業が進むように促す。</p> <p>○「今と昔の家で書くところが2か所あるから、それぞれの欄に書いてね。」</p> <p>◎「屋根が違うよ。」「塀がある」</p> <p>◎「これは何？」</p> <p>◎「教科書見ていいかな？」</p> <p>◎「全然わからない。」</p> <p>◇机間指導を行い、特徴が書けていないグループには、着目する部分を例示する等の支援を行う。注目しておきたい書き込みを座席表に控えておく。</p>	10
	5. 気付いた特徴を共有する。	<p>○「そろそろ書くのを終わりにします。」</p> <p>(意図) 終わりの見通しが持てるようにして、書き終える姿勢を整える。</p> <p>○「書けたグループ！」</p> <p>◎「はい！」</p> <p>◇ここでは、すべてのグループが挙がるまで聞き、全</p>	6

		<p>買で授業を動かしている意識を持ってもらう。</p> <p>○「△△さん。」</p> <p>(意図) 発言するきっかけをつくり、普段積極的に手を挙げない子にも発言の機会を与える。</p> <p>◇机間指導の際に目星をつけておいた班の子を中心に指名する。</p> <p>◎「屋根が赤いです。」</p> <p>○「1と2どちらについてですか？」</p> <p>(意図) 自分の発言がどちらの番号(今の家か昔の家か)に当てはまるか、発言を通して再確認するように促す。</p> <p>◎「2です。屋根が赤いです。」</p> <p>◎「2番で、壁が少ない。」</p> <p>○「なるほど、とても良い発見ですね！」</p> <p>◇1についての特徴が出にくい場合は、1について切り離して聞く。</p> <p>○「1についてはあるかな？そこの班書いてたよね？△△さん。」</p> <p>◎「屋根が平ら。」</p> <p>◎「変な銀色のやつがくっついてる。」</p> <p>◇子どもが気付いていない必要な特徴があった場合は、教師が黒板に書き足して強調しておく。</p>	3
6. 沖縄の気候の特徴を確認する		<p>○「沖縄県ってどんな気候の特徴があったっけ？」</p> <p>(意図) 沖縄の気候の特徴を振り返ることで、家のとのつながりのきっかけを作る。</p> <p>◎「暑い！」「雨が少ない。」</p> <p>○「そうだね。あともう一つあるんだけど分かる人いるかな？」</p> <p>◎「海に囲まれてる！」</p> <p>◎「台風！」</p> <p>○「そうです！沖縄には台風が多く通過します。」</p> <p>◇最終的に台風という発言が出ない場合は、27日の台風発生のニュースを取り上げて台風の話題を出す。</p> <p>○「ニュースでもあったけど、沖縄は台風が多いんだね。」</p>	10
7. 沖縄の気候と家の関係について考える。		<p>○「もう一度学習問題を確認します。なぜ沖縄県の家はこのようにつくりになっているのでしょうか？」</p> <p>(意図) 気候と家の関係性に気付くきっかけを作る。</p> <p>◎「あっついから壁に穴が空いてる！」</p> <p>◎「台風がくるから塀で守ってるんだ！」</p> <p>◇上記のような意見が出ない場合は、「暑いときには窓を開ける(なんで窓ってあるんだらうね)」等の下記の下記の発問につながる発言を行う。</p>	

	<p>8. 気候によって特徴を分類する。</p>	<p>○「気候に着目すると沖縄の家の特徴が見えてくるね」 (意図) 気候と家の造りとの関係を強調する。</p> <p>○「さっき出た沖縄県の気候, 確か3つあったよね。ここに出た沖縄県の家の特徴ってどの気候が理由になっているかな? 少し(2分くらい)考えてみよう。」 (意図) 分類することを促し, 家の造りは気候が要因しているというつながりに気付くきっかけとする。 ◇気候に関係していない特徴が出ていた場合は, 教師が気候とは違う要因によることを事前に示す。</p> <p>○「分かった人? どこからでもいいよ。」 ◎「塀は台風が来るからだと思います。」 ○「続けてどうですか?」 ◇別の意見によっていくつかの気候(要因)が出た場合は, 多様な要因があることを伝えるようにする。</p> <p>○「沖縄県の家は, 気候に合わせた工夫をしているんだね。」 (意図) 気候と家の造りの関係を, 家をつくる際の条件(理由)として伝えることで, 地域の気候に合わせた家づくりが行われていることを示す。</p>	
<p>【評価(対象)】沖縄県の家の特徴に気づき、気候との関係をまとめることができる(ワークシート)</p>			
<p>終末</p>	<p>9. 気候と家の造りについてまとめる。</p>	<p>○「まとめます。あたたかい土地の沖縄県の家には…」 「(気候の部分空白にし, アンダーラインを書く)ほにやらかに合わせた工夫が見られますね。」 ◎「気候!」 ○「そう、沖縄県の家には気候に合わせた工夫がみられるね。」 (意図) 子どもに穴埋めとして発言してもらうことで, 学んだことの再確認を行う。</p> <p>○「今日は, これでおしまいです。」</p>	<p>2</p>